

Human PSI Forum

発表原稿作成要領

2002 年 4 月 15 日

山本 幹男

Human PSI Forum コーディネーター

(Journal of ISLIS 編集委員長)

1. 掲 載

Human PSI Forum 発表原稿は、フォーラム当日配布の「Journal of International Society of Life Information Science, Vol.20, No.2 September, 2002 (ISSN 1341-9226) フォーラム特集号」(以下、Journal of ISLIS)に掲載する。

2. 著作権

掲載された発表原稿の著作権は、国際生命情報科学会 (ISLIS) に帰属する。データベースへの収録、転載、引用の申請があった場合は、同学会において検討し、許可することがある。

3. 原稿の採否・掲載と再提出

投稿原稿の採否・掲載順序は、プログラム委員会が決定する。原稿の内容は著者の責任とする。訂正を求められた原稿は、すみやかに再提出する。再提出されない場合は、発表の意志がないものとして整理することがある。

4. 原稿の形式

原稿はカメラレディの状態で提出する。

5. 原稿提出先

フォーラム事務局 国際総合研究機構 (IRI)
郵便番号 263-8555 千葉市稲毛区穴川 4-9-1
放射線医学総合研究所 山本生体放射研究室 内 IRI
電話 043-206-3066 FAX 043-206-3069 E-mail: iri@nirs.go.jp

6. 提出物

1. 原稿 2 部 (オリジナル 1 部、コピー 1 部)
2. E-mail または フロッピー (英文と和文の両方共)
MS-WORD 等で保存したもの。
フロッピーは 3.5 インチで、MS-DOS または Macintosh によりフォーマットされたものに限る。
3. 発表者連絡票
4. フォーラム参加申し込み書

7. 原稿の作成

1. 原稿は英文原稿、およびその和訳原稿よりなり、A 4 判、横書きとする。ただし、英文原稿のみでもよい。
2. 英文原稿は、英語を母国語とする国で育ったネイティブ・スピーカーの点検を受けること。
3. 原稿は、学術論文の形式をもち、表題・著者氏名・所属・要旨・キーワード・本文からなる。
4. 要旨は、その論文において著者が強調したい要点を含め、目的・方法・結果について要約したもの。

英文要旨は100語から200語、和文要旨は200 - 400字とする。

5. キーワードは5語 - 約10語とする。
6. 本文は、次の要素で構成されていることが望ましい。緒言・理論・実験・結果・考察・結論。このうち不必要な項目は省略することができる。
7. 分量は、仕上がり頁数で、口演の場合は、英文2 - 10頁、和文2 - 10頁。ポスターの場合は、英文1 - 2頁、和文1 - 2頁。
8. 原稿は、2部提出する。原則として返却しないので、著者はコピーを保管のこと。

英文原稿の構成要素

タイトル	
著者名	姓を大文字で表記。
所属	筆頭著者について、細部を脚注に記述。
Abstract	英文 100 - 200 語。
Keywords	5 個以上、約 10 個まで。
Foot Note	筆頭著者の氏名、住所、Phone、Fax、E-mail、ホームページ等を 1 頁目の左下に書く。
本文	本文中に対応する図表、参考文献番号を示すようにして下さい。
図表	図表及びその説明文。
References	(参考文献の書き方を参照)

和文原稿の構成要素

タイトル	和文タイトルの下に英文タイトルも書く。
著者名	和文で記載した下に英文も書く。
所属	筆頭著者について、細部を脚注に記述。
要旨	和文 200 - 400 字。
Keywords	英単語で 5 個以上、約 10 個まで。
脚注	筆頭著者の氏名、住所、電話番号、Fax、E-mail、ホームページ等を 1 頁目左下に書く。
本文	本文中に対応する図表、参考文献番号を示すようにして下さい。
図表	図表及びその説明文 (英文のものがあるので無くともよい。ただし、気功用語や病名リスト等専門用語の多いものは和文も必要)。
参考文献	(参考文献の書き方を参照)

参考文献の書き方

例

- 1) Pei Z., Smith T. and Suzuki K.: Senzai noryoku no seibutugakuteki kiso (Biological basic of human psi), *Renti Teyigongneng Yanjiu (Research on Paranormal Function of the Human Psi)*, 4(3): 168-170, 1988 [in Japanese with an English abstract].

標準スタイル:[]内は必要に応じて。

雑誌論文	著者名：論文名、雑誌名、巻（号）：開始頁-終了頁、発行年 [言語の表示] .
図書に収録の論文	著者名：論文名、in 編者名、書名、開始頁-終了頁、出版地、出版者、出版年 [ISBN] [言語の表示] [媒体の表示] .

図書 1 冊を参照 する場合	著者名：書名、版表示、出版地、出版者、出版年、総頁数 [シリーズ名、シリーズ番号][ISBN][言語の表示][媒体の表示] .
-------------------	---

日本語文献などを参考文献にあげる場合、もとの文献に英語の題名がついていないことがあります。その場合、次の原則にしたがって表記してください。

1. 英語名がついているものは、その表記を用いる。
2. 英語名がついていないものは、ローマ字による発音表記で書き、さらに () 内にその英語訳を書く。
3. 英語訳は、定訳がある場合は、その訳を用いる。特に定まった訳がない場合は、最も適切と思われる訳をつける。

雑誌「生命情報と科学」の場合：

Seimei-Jouhou to Kagaku (Life Information and Science)

中国語の雑誌「人体特異功能研究」の場合：中国語の発音表記を書き、その英語訳を書く。

Renti Teyigongneng Yanjiu (Research on Paranormal Function of the Human Psi)

中国語の雑誌「自然雑誌」の場合：

Ziran Zazhi (Nature Journal)

カメラレディ原稿作成上の留意事項

1. 用紙サイズ A 4 白紙または写真に写らないごく薄い黄色の罫紙を使用（用紙は各自でご用意下さい）。
2. 頁数 口演発表の場合は、英文 2 - 10 頁、和文 2 - 10 頁。
ポスター発表の場合は、英文 1 - 3 頁、和文 1 - 3 頁。
3. カメラレディ そのまま写真製版出来るものを提出。きれいなら貼合せも可。
4. 印刷寸法 掲載誌の出来上がり寸法は国際版、原稿は原寸大で掲載されます。したがって、A 4 版原稿の下部がカットされます。
5. フォーマット サンプルをよく見て細部まで従って下さい。
6. 使用フォント 英文頁は Times、和文頁は明朝、またはそれに似たもの。使用ポイント数（字の大きさ）は、サンプル内に指定。
7. 太字 bold 使用 タイトル、サブタイトル、Fig.1、Table 1、最初に出てきた略語、図表の説明文タイトル。
8. 図表 必要以上に大きく入れないこと。なるべくきれいに仕上げて下さい。内容・説明共に英文が必要です。図表は、コンピュータでテキスト中に取り入れられ打ち出されていない場合は、適切な寸法に縮尺した上でテキスト中に貼ってご提出下さい。
9. カラー印刷 カラーの図・写真等の印刷は高価なので、ご希望される方は、実費をお支払いいただくことになります（依頼原稿も同様）。特に文書による、ご希望とお支払いの保障が無い場合は、原図がカラーでも白黒印刷とさせていただきます。
10. 頁の記入 英文を先に配置し、鉛筆書きにて右下に記入。英文頁数 + 和文頁数の総頁数（たとえば 6 頁）を分母として、1/6、2/6、-----、6/6 のように通し番号を記入して下さい。